

アウシュヴィッツが投げかける問い

私たちはどう答えるか

75 years after Auschwitz

1月27日は、国連が定めた「ホロコースト犠牲者を追悼する国際デー」です。この日は、ナチ時代の最大規模の収容所アウシュヴィッツが解放された日にあたります。国や民族のちがいをこえて、この歴史から共に学ぼうと国連は呼びかけています(2005年国連総会決議)。

アウシュヴィッツ解放 75 周年の 2020 年は、ドイツ近現代史が専門の石田勇治氏を講師にお迎えして、歴史学の視点からアウシュヴィッツをつくりだした様々な要因を学びます。今を生きる私たちにアウシュヴィッツが投げかける問いを一緒に考えてみませんか。

1/26(日) ゲスト講師



石田 勇治 氏

東京大学大学院総合文化研究科教授

DAY 1

講演会

2020 年 1 月 26 日(日) 午後 2~4 時

ゲート・インスティテュート東京にて (東京メトロ「青山一丁目」駅 4 (北)出口徒歩 7 分)

どなたでもご参加いただけます (日本語。英語による同時通訳つき)

DAY 2

高校生向け
ワークショップ

2020 年 1 月 27 日(月) 午後 5~7 時

国連大学にて (JR「渋谷」駅徒歩 10 分、東京メトロ「表参道」駅出口 B2 徒歩 5 分)

高校生と引率の先生が対象です (日本語のみ)

参加無料

要申込

申込

両日ともホームページよりお申込みください

<https://www.npokokoro.com/20200126>

